

集計

別のデータポケットのレコードの数値を集計します。

※ このフィールドは内部タスクを使用します。内部タスクには、呼び出し回数に制限があります。詳細は、開発者ドキュメント「[内部タスク](http://doc.plat.io/api/ja/tasks.html)(<http://doc.plat.io/api/ja/tasks.html>)」参照してください。

基本情報

カテゴリー	集計
利用できるプラン	Standard, Premium, Enterprise

アプリ

初期画面

▼ 集計

表示画面

▼ 集計
200,000円

編集画面

直接編集することはできません。

Platio Studio

基本プロパティ

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf

(*)は必須、指定しないとデータポケットを保存できません。

検索可能 (※)	データポケットの一覧シーンで、検索アイコンをタップするときに検索対象にするかどうかを指定します。
ソート可能 (※)	データポケットの一覧シーンで、ソートアイコンをタップしたときにソートするかどうかを指定します。
タイプ (*)	集計の処理タイプを指定します。 レコード数／合計／平均／標準偏差／最大値／最小値／最新値
生成元データポケット (*)	集計対象にする別のデータポケットを指定します。
生成元の主キー (*)	生成元データポケットのフィールドから主キーを選択します。 ※ 「生成元データポケット」でデータポケットを選択すると表示されます。
主キーのグループ化 (*)	主キーが日時または日付の場合にグループ化する単位を選択します。 ※ 「生成元の主キー」を選択すると表示されます。
生成元の副キー	生成元データポケットのフィールドから副キーを選択します。 ※ 「生成元データポケット」でデータポケットを選択すると表示されます。
副キーのグループ化	副キーが日時または日付の場合にグループ化する単位を選択します。 ※ 「生成元の副キー」を選択すると表示されます。
生成元の値 (*)	生成元データポケットのフィールドから集計対象にする数値または真偽値のフィールドを選択します。 ※ 「生成元データポケット」でデータポケットを選択すると表示されます。 ※ 「タイプ」がレコード数のときは使用しません。
主キー (*)	生成元データポケットから取得した主キーを登録するフィールドを選択します。 ※ 生成元データポケットと同じレコード選択フィールドを指定できます。
副キー	生成元データポケットから取得した副キーを登録するフィールドを選択します。 ※ 生成元データポケットと同じレコード選択フィールドを指定できます。
タイムゾーン (*)	タイムゾーンを指定します。
単位	データポケットの入力・編集シーンで、フィールド値の末尾に表示する単位を記述します。

プロパティ例

プロパティの指定について詳しくは、[ミニガイド「集計フィールド」](#)を参照してください。

【ミニガイド「集計フィールド」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol07.pdf

高度なプロパティ

「高度なプロパティを表示」をクリックしたときに表示されます。表示した後、隠すには「高度なプロパティを隠す」をクリックします。

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf

小数点以下の桁数	データポケットの表示シーンで、表示する小数点以下の桁数を指定します。 ※ 入力シーンでは、小数点以下を桁数の制限なく入力することができます。表示シーンでは指定した桁数より下の桁で四捨五入した値が表示されます。
説明 (※)	データポケットの入力・編集シーンで、フィールド名の下に表示する説明を記述します。
色 (※)	データポケットのレコード入力・表示・編集画面と一覧画面で、フィールドの表示文字の色を指定します。
背景色 (※)	データポケットのレコード入力・表示・編集画面と一覧画面で、フィールドの背景色を指定します。
条件付き表示 (※)	データポケットの入力・編集シーンで、フィールドを表示する条件を指定します。